

## 令和6年度金沢市水道水源保全審議会 会議要旨

- 日 時 令和6年11月20日（水） 午後2時00分から午後3時00分まで
- 場 所 末浄水場 管理本館1階 見学室
- 出席者 別紙のとおり
- 内 容 以下のとおり

事務局	ただいまから「令和6年度金沢市水道水源保全審議会」を開催する。
公営企業管理者	挨拶
事務局	・事務局から委員を紹介 （中山委員、井南委員は欠席、井南委員代理として山名委員が出席） ・昨年に引き続き、原委員を会長に選任
会長	会長挨拶
事務局	これより議事に移るが、金沢市における水道水源の保全に関する条例施行規程第6条第1項の規定に基づき、ここからの議事進行は原会長にお願いする。
会長	本日の議題は2件。なお、議事については公開で進める。 それでは、 ・議題の1「令和6年度 水道水源保全活動」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（令和6年度 水道水源保全活動について（資料1）に基づき説明） （広報番組 いいね金沢「金沢の水はどこから？水源を訪ねて」を視聴）
会長	ただいまの説明について、ご意見、ご質問をお願いします。
委員	この番組（広報番組 いいね金沢「金沢の水はどこから？水源を訪ねて」）の放送はどのようなものだったのか。
事務局	この番組は7月20日（土）に放送されたものである。繰り返し観てもらいたいため、金沢市のHPから観ることができるよう制作元と現在協議中

	<p>である。</p>
委員	<p>環境局から伏見川などで暫定指針値、暫定目標値を超える PFAS が検出されたとの報告があったとのことだが、PFAS 検出の原因は何か。</p>
事務局	<p>環境局により、伏見川で PFAS の暫定指針値を超えて計測された地点から上流に遡っての検査をはじめ。それにより、大体どの辺りに原因があるのか判明するのではないかと考える。</p>
委員	<p>水道フェスタの来場者が前年比約 5 倍になった要因は、市の公式 LINE の活用以外に何かあるのか。</p> <p>また、去年はコロナ等で来場者数が例年よりも落ち込んでいたことが影響しているのか。</p>
事務局	<p>周知方法に関しては、従来の HP とポスターによる周知に加えて、今回新しく市の公式 LINE を用いた。LINE の登録者数はかなり多く、親子連れの方が多く来場した。</p> <p>また、今回前年比 5 倍であることについて、令和 5 年度のイベントがコロナ禍終了後初のものであり来場者が少なかったことも影響している。</p>
委員	<p>何を見て来場したのかについて、当日アンケート等をとったのか。</p>
事務局	<p>アンケートは行っていないが、来場者に直接訊いた結果、LINE を見たという方が圧倒的に多かった。</p>
委員	<p>パトロールの際に国有林の中に入る必要があるであれば、入林届出等の手続きが必要だが、この手続きをとっているか。</p>
事務局	<p>犀川ダムのパトロールは、ボートで奥二又、倉谷まで行き、河川区域から状況確認行っており、実際に森林に立ち入ることはしていない。</p>
委員	<p>そういうことであれば手続は必要ない。</p> <p>徒歩であると時間がかかることから、もし機会があれば、林野庁職員もパトロールに同行したい。</p>
事務局	<p>それに関しては、ボートの定員などがあるが、お互い協力することも考えられる。</p>
委員	<p>末浄水場以外で給水機のスポットが設置されている場所はあるのか。</p>

事務局	末浄水場に給水機を設置したのは、例えば、浄水場見学に来た子供たちに金沢市の水道水、おいしい水を直接すぐ飲んでいただくという趣旨であり、他には設置していない。
委員	体験イベントも多くの参加者があったということだが、これも LINE によるのか。
事務局	昨年度はフェイスブック、HP、ポスターのような媒体を使用したけど、昨年度の審議会で新しい広報手法をとという意見もあったことから、今年度から新しく LINE を使った。その効果もあると思われる。
委員	企業局での告知や申込で LINE 等が上手くいった理由はあるか。
事務局	水道フェスタについては、LINE 周知をした。 子ども教室については、電子申請を取り入れ、電話申込とか、FAX 申込のようなものを省いた。多くの申込数があったため、電子申請には利便性があったと考える。
委員	金沢市の環境関連とのコラボレーションがあってもいいのではないか。
事務局	環境局では講義や、出前講座を広く行っていることから、森林再生課以外との協力も広げていきたい。
委員	水道については、汚染源になりそうなものはないので心配はないが、例えば、不法投棄などのように汚染源となりうるものが置かれるという事例も考えられる。林道が十分に復旧していない中でのパトロールは限定されると思うが、日頃のパトロールは重要になる。 PFAS 対策等について、今後の考えや計画は考えているのか。
事務局	この点は、議題の 2 の今後の活動方針の中でも説明するが、水源水質の監視を強化し、年に 2 回パトロールしているが、その回数を増やすことができないのかと考えている。 現在でも、林道が通れない部分があるが、なるべく人間が歩いて、車では行けない場所、人間が何とか河川まで降りて行けるような場所の確認はしており、PFAS、水源環境悪化につながるような汚染物の不法投棄は今のところはないが、今後強化する方針ではある。
会長	他に意見等はないか。ないようであれば、次の議題に移る。  続いて、議題の 2 「令和 7 年度 水道水源保全活動計画」について、事務局

	局から説明をお願いします。
事務局	(令和7年度 水道水源保全活動計画について(資料2)に基づき説明)
会長	ただいまの説明を受けて、意見、質問をお願いします。
委員	出前講座は、どのようなものを想定されているのか。
事務局	出前講座については、金沢市では、かがやき発信講座の利用、ボランティア大学校での出前講座の利用を考えている。
委員	来年度の夏休み子ども水道教室は、今年度と同じ規模あるいは頻度と考えているか。
事務局	次年度についても、夏休みに同規模で行いたい。
委員	定員を超えて応募があったのは、夏休み子ども水道教室なのか。こちらは、早いもの勝ちになるのか、抽選なのか。
事務局	夏休み子ども水道教室は抽選である。
委員	保全区域パトロールは何人態勢なのか。
事務局	保全区域については、浄水担当2名から3名でパトロールを行っている。
委員	水源水質監視における PFAS の測定は、今後も夏と冬の年2回で継続されるのか。
事務局	現行の基準、水質管理目標の設定しているところでは夏と冬の年2回で行う。水道基準に格上げになった場合、回数が変わるような場合、基準値もそうだが適正に対応する。
会長	他に意見等はないか。では、今回の一連の議論で、委員から出された意見を元に、今後の水源保全活動を進めていくようお願いする。 本日の議事は以上だが、その他意見、質問等はないか。  (その他意見、質問等なし)  そろそろ時間となったので、以上で本日の議事を終了する。議事進行に協力いただいた。

事務局	<p>それでは、進行を事務局にお返りする。</p> <p>本日、議論、提案いただいた大変貴重な意見については、今後の水道水源の保全活動に活かしていきたいと考えている。改めて、感謝申し上げます。</p> <p>以上で、令和6年度金沢市水道水源保全審議会を終了する。</p>
-----	---

(別 紙)

令和6年度金沢市水道水源保全審議会出席者（順不同、敬称略）

会長 原 宏江 （金沢大学理工研究域地球社会基盤学系 准教授）  
川崎 秀親 （林野庁近畿中国森林管理局石川森林管理署 署長）  
砂山 亜紀子 （もりラバー林業女子会@石川 代表）  
中野 真理子 （石川県立自然史資料館 副館長）  
山崎 浩一 （金沢森林組合 代表理事組合長）  
山名 佑樹 （石川県農林水産部森林管理課 担当課長）※  
※井南 哲司委員（石川県農林水産部森林管理課 課長）の代理

#### 事務局

松田 滋人 （金沢市公営企業管理者）  
中村 徹 （金沢市企業局 次長）  
川江 隆司 （金沢市企業局上水課 課長）  
吉永 晃一 （金沢市農林水産局森林再生課 課長補佐）  
藪内 充 （金沢市企業局上水課 課長補佐）  
酒井 正樹 （金沢市企業局上水課 課長補佐）  
北村 哲 （金沢市企業局上水課 浄水管理係長）  
石田 義則 （金沢市企業局上水課 主査）  
松岡 俊史 （金沢市企業局上水課 主査）  
下橋 良春 （金沢市企業局上水課 主査）  
池田 雅人 （金沢市企業局上水課 主査）